

XIV. THE DISC OF PHAISTOS

超古代——天の岩船カゴメの浮き橋

「SONS OF THE SUN」

M.F.Homet 著 p185 より

砂漠の足跡

空飛ぶ円盤の真相 G. アダムスキー 久保田八郎訳

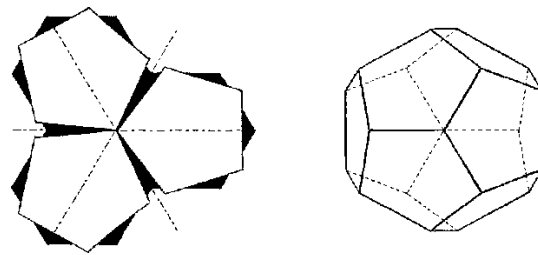
第6章

過去数年のあいだに私はマルセルオメの太陽の子という書物を知った。

けれども、その中にアルゼンチンで発見された象形文字の記された1枚の板が複写されている。

ある点でこの象形文字は円盤から落とされたあのネガの文字と同じものである。

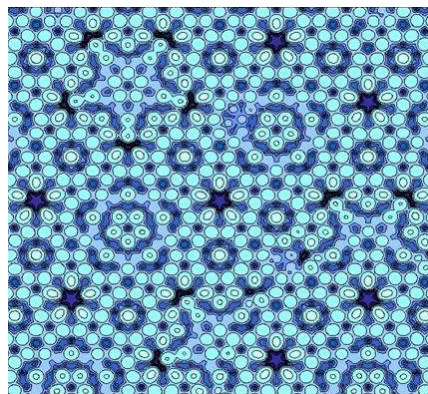
私を知る限りではこの書物はドイツ語だけで出版されていて、アマゾンの古代文化を扱ったものである。かくて遊星間の交通と地球の古代文化とをつなぐある事実の一連の鎖に新たな輪が加えられたことになる。しかしその記録のほとんどは数千年の間に失われたかまたは故意に破壊されたのである。さてこの象形文字が私に与えられた主な理由のひとつは地球人の欲しがっていることを宇宙人が知っていたという具体的な証拠を与えるためであった。

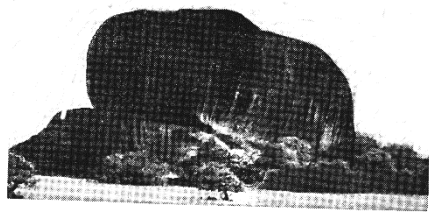
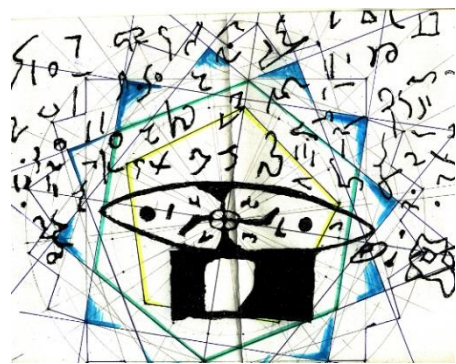
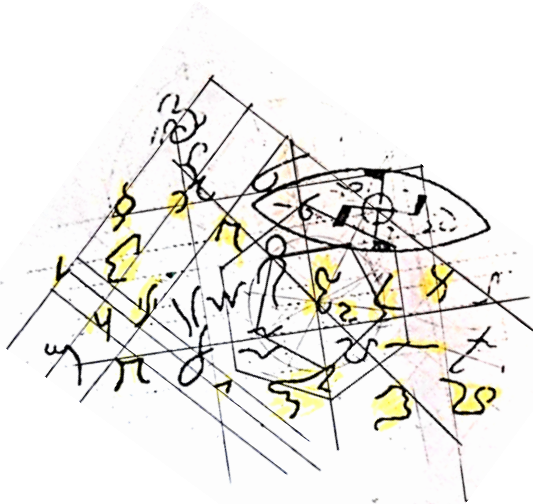
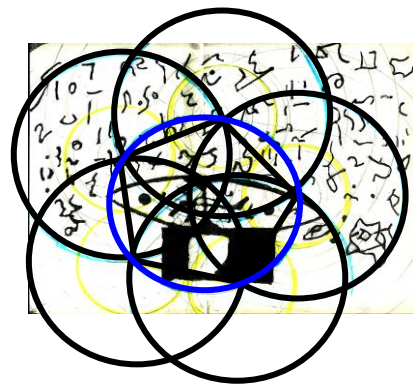


正十二面体から始めれば格子をなす軸は中心に正十二面体様の構造物を形成する。そして正十二面体様および正二十面体様の構造物を合わせたものは、切頭二十面体様を呈し、中空の球状の軸構造物である。そしてこの球状の構造物の外側には、さらに大きな、正十二面体様の軸構造物、正二十面体様の構造物、切頭二十面体様の構造物が同心球的に形成され、球空間として考えても自己相似であることが認識出来る。

このことは、これらの多面体様の構造物も多面体と同様に「入れ子」構造をなしているといえる。そしてこれら多面体様の構造物が、一つの多面体様構造物から相互に形成出来ることを考えれば、軸自体も「黄金比」のピッチで回転しているか、「黄金螺旋」を形成している。

準結晶の回折像は5回、8回、10回または12回対称を示す。

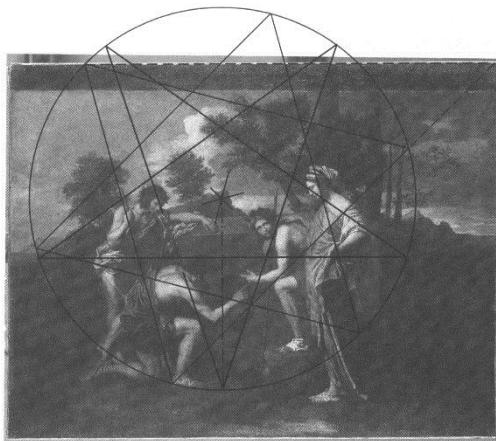
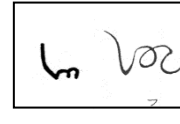
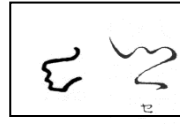
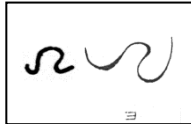
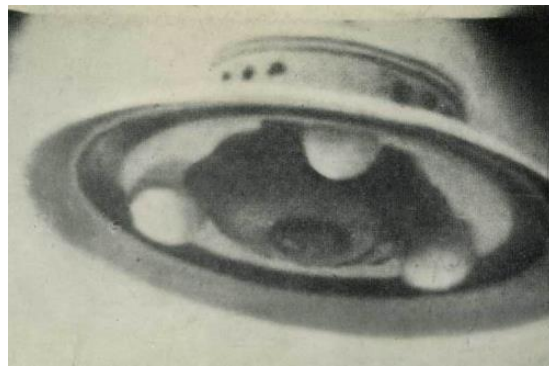
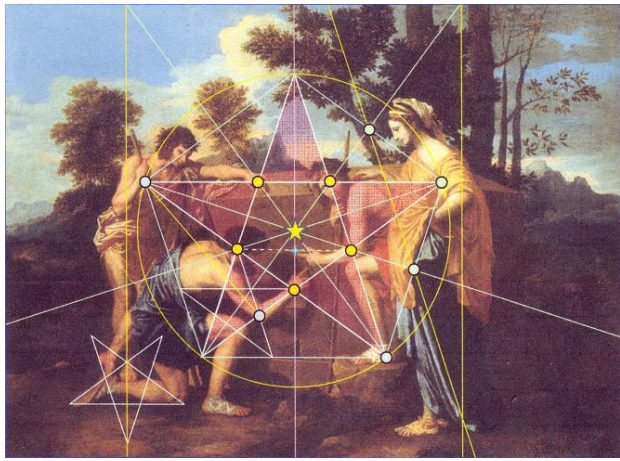




ペドラ・ピンダダの全景

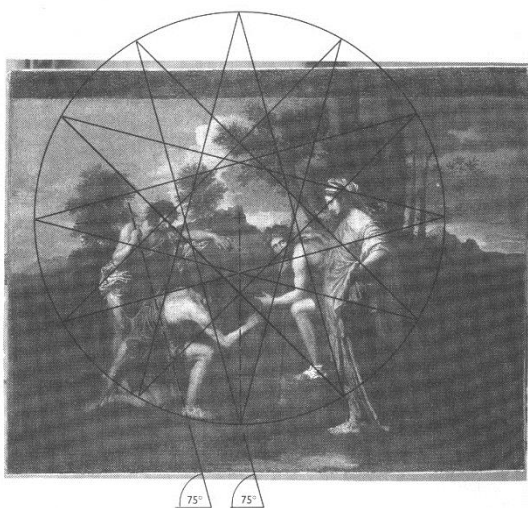
マルセルオメの「太陽の子」のなかにあった図版を分析するために線を引いたもの。このマルセルオメの本の中にはブラジルの巨石ペドラピンダダで採取されたように書かれていたが、アダムスキーによればアルゼンチンで採取されたとある。中に五角形と六角形がある

アダムスキーが金星人から改めて受け取ったフィルムの中にあつた文字図版を分析のために線を引いたもの中に五角形と六角形がある

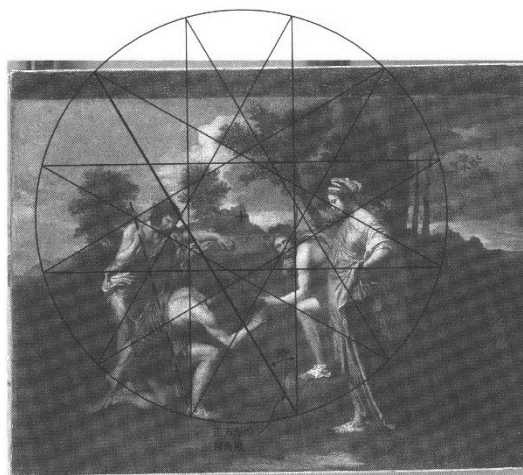


9.2 『アルカディアの羊飼いたちⅡ』五線星形を確認する

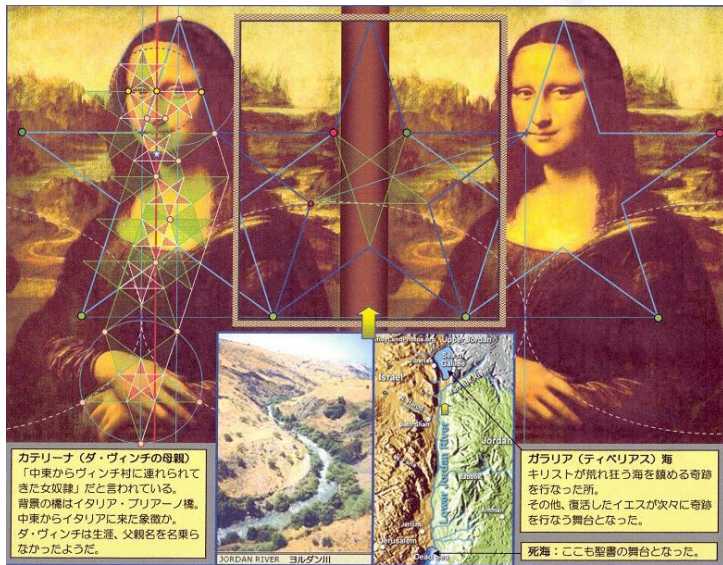
レンヌルシャトーに関連してニコラプサンの「われアルカディアにもあり」の絵画分析。
五角形と12線星型つまり六角形が出てくる分析
円盤と日本の神代文字でヨセフ



9.5 『アルカディアの羊飼いたちⅡ』十二線星形を15度回転させて真上と真下に頂点がくるようにすると、75度の杖と平行になる



9.4 『アルカディアの羊飼いたちⅡ』十二線星形が現われる。頂点のひとつは、75度の杖と円が接する点と一致する

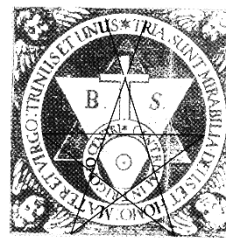


カテリーナ（ダ・ヴィンチの母親）「中東からヴィンチ村に連れられてきた女奴隷」だと言われている。背景の橋はイタリア・フリアーノ橋。中東からイタリアに来た象徴か。ダ・ヴィンチは生涯、父親名を名乗らなかったようだ。

JORDAN RIVER ヨルダン川

ガラリア（ティベリアス）海キリストが荒れ狂う海を鎮める奇跡を行なった所。その他、復活したイエスが吹矢に奇跡を行なう舞台となった。

死海：ここも聖書の舞台となった。

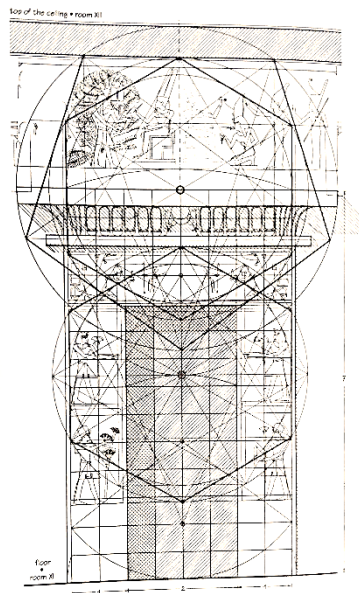


11.1 ソニエールの蔵書票にある五線星形



11.2 ソニエールの蔵書票にある十二線星形

右 レンヌルシャトウの牧師の蔵書印にある
五角形と六角形
モナリザの五角形



ルクソール神殿 XII 部屋の南壁の中央
ドアの分析

ルクソール神殿の統括を示す 5 角形と
6 角形の構成

ジャンコクトーのお友達である RA.Schwaller

の Temple of man より